

栃木：「2019年度(2020年3月)末 経済的理由による中退・学費滞納調査」結果を記者発表

下野 2020.7.29

青森につづき、栃木私学助成をすすめる会が7月28日に「2019年度(2020年3月)末 経済的理由による中退・学費滞納調査」の記者発表を行いました。また、同日、学事課要請、県議懇談も行いました。

学費滞納半年以上
県内4人増の8人
私教連調査
県私立学校教職員組合連合(県私教連)は28日、県内の私立高校生の学費滞納調査結果を発表した。3か月以上の滞納者は前年同期

全国の調査結果発表は

8月6日(木)に設定しました。

「臨時休校・学校再開にかかわる私学の実態調査」結果とともに発表します。

比5人増の17人で、うち6か月以上の滞納者は4人増の8人だった。中退者はゼロだった。調査は2009年4月に始まり、年に2回実施している。今回は23回目、中等教育学校を含む私立高校15校を対象に調査した。滞納率は3か月以上が0・11%、6か月以上が0・05%で、いずれも前年同期と比べ微増した。1校当たりの滞納者は1・1人だった。

県私教連は同日、福田富一知事宛ての要望書を提出した。学費補助の対象を授業料以外にも拡充することなどを求めた。

県議会議員懇談では、立憲民主党議員3名と懇談。各県が集めた資料をもとに、私学の学費実態について議員さんと共有しました。子どもの貧困問題に取り組んでいる議員もいて、高校までは無償で学べる環境が大切という点で一致したということです。

コロナ禍に負けずに!!

千葉県：私学助成署名スタート集会を開催!!

8月1日(土)午後3時、千葉県教育会館を会場に、2020年度の私学助成全国署名(教育全国署名)のスタート集会が開催されました。公立教職員とともに結成されている「ゆきとどいた教育をもとめる千葉県民の会」では、コロナ禍の状況下での開催にすいぶん迷ったそうですが、分散登校等で確信を得た少人数学級の良さ、その実現の好機を逃すべきではない、と開催を判断しました。

千葉の授業料減免制度は数年間制度拡充なしでしたが、2020年度授業料無償化の年収層を上げ、加えて入学金補助を拡充し、県単予算の増額幅が全国一となりました。「しかし、まだ問題点もあります」と森千葉私教連委員長は開会あいさつで述べ、参加者に向けて今年の署名の重要性を訴えました。千葉父母懇の宮澤代表も拡充したとはいえまだまだ少ない県単予算の拡充の必要性を訴えました。

集会には、専大松戸から現役父母が3名、有馬書記長の呼びかけにこたえ参加されました。



青森：「中退・滞納調査」NHKがTV報道

NHK NEWS WEB

2020年(

青森 NEWS WEB

私立高校の学費滞納率1%下回る

08月03日 11時04分



県内の私立高校の昨年度の学費の滞納率は0.77%で、9年ぶりに1%を下回り、経済的な理由で中退した生徒も、6年ぶりにゼロとなったことが分かりました。

これは、県内の私立学校で作る教職員組合連合の調査で分かったもので、ことしは、県内の私立高校

17校のうち、15校から回答を得ました。

それによりますと、昨年度、学費を3か月以上滞納した生徒は57人で、1校当たり3.8人、率にして0.77%でした。

これは、前の年度の1.11%を0.34ポイント下回り、2010年度以来、9年ぶりに1%を下回りました。

この理由について、教職員組合連合は、保護者の所得が一定の基準を下回る場合に、国や県が授業料の一部を負担する就学支援金制度が大幅に拡充され、今年度から年収590万円までの家庭の私立高校の授業料が実質無償化されたことで、家庭の負担感が減り、支払いにつながったとみています。

また、昨年度、経済的な理由で私立高校を中退した生徒は、6年ぶりにゼロとなりました。

教職員組合連合では、今後、新型コロナウイルスの影響で家庭の収入が減少し、再び学費の滞納が増えることを懸念していて、「引き続き、調査をして、状況を分析していきたい」と話しています。

7月10日に行った青森私教連の記者会見の様子が、本日NHK青森で放送されました。下記URLから見る事ができます。

<https://www3.nhk.or.jp/news/aomori/20200803/6080009317.html>

9年ぶりに学費滞納者が1%を下回り、6年ぶりに中退者が「0」となった点が県民に注目されています。